



からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 互いに高め合い、自分をリードする生徒

「互いに高め合い、自分をリードする生徒」をめざして

令和6年度の原町第二中学校は新入生54人を新たな仲間として迎えて、教育活動をスタートすることができました。先月行われた生徒会対面式では、2,3年生が個性的でユーモア溢れるパフォーマンスを披露し、1年生は目を輝かせながら先輩達が繰り広げる学校生活、生徒会活動、部活動の説明に聞き入っていました。

今年度は、「誰かと対話したり理解し合ったりして、何をすべきか、何をしたいのか自分自身に問いかけ考えて行動する力（主体性）」を高め、「自律」「探求」「協働」をとおして、子ども一人一人が尊重され、認め合い、活躍できる学校を保護者や地域の皆様とともに創っていきたいと考えています。



一つ目の「自律」とは、自ら考え、判断し、行動することです。

中学校ではその場で皆さんから出された発言に基づき授業が行われます。授業や学校行事などに積極的に参加することで、主体的に考え、自分たちの手で「学び」を創り上げてほしいと思います。

二つ目の「探求」とは「真理を求めて深く学び続けること」です。

「なぜ、どうして」といった疑問に対する答えは一つとは限りません。むしろ、間違いから学んだ知識や経験から、よりよい考え方や方法に気づくことがほとんどです。そして、「もっと学びたい」と感じるようになります。

失敗や間違いは自分を成長させるチャンスです。成長する自分を感じながら中学校生活を存分に楽しんでほしいと思います。

三つ目の「協働」とは目的意識を持ち、いろいろな人と協力することです。

人は様々な人とのふれあいの中で憧れや自分なりの目標を抱き、なりたい自分に向かって自ら深く学ぶようになります。また、いろいろな人と協力して学ぶことで自分の考えを伝える力や人間性などを身につけることができます。ここにいる仲間と共に助け合う喜びや相手を思いやることで、自分の成長に気づき、学ぶ「愉しさ」を創りあげてほしいと思います。

☆☆教育活動の特色☆☆

◆子どもが主役の授業づくり

- なぜ?おや?もっと!で主体的な学びへ
- 共感的・協働的な対話を生み出す学び合い
- まとめや振り返りの充実
- 学習支援ツール(スタディサプリ)等の活用

◆地域の未来を考える「総合学習」

- 子どもたちが考える町づくりの提案
- 南相馬×もの(1年)、ひと(2年)、くらし(3年)

◆家庭学習の習慣化

- 事例を示し、個別最適な家庭学習を支援

◆主体的に取り組む協働的な活動で絆づくり

- 学年や学級で取り組む親和的な集団づくり
- 生徒会活動を中心としたSDGsへの取組
- 学びと感動を生み出す学校行事

◆「考え議論する道徳」への転換

- 子どもの問いを大切にされた対話
- 対立・葛藤・板挟みによる価値の深化

◆心と体をベストに保つ「生活習慣・生活態度」

- 6時半起床、2時間自学、11時就寝の推進
- ㊟かるく、㊷つでも、㊸きに、㊹づける

◆チーム学校で取り組む安心・安心

- 教育相談やサポートルーム等による生徒支援
- 南相馬ならではの防災教育や放射線教育